

第5章 産業・経済の分野									
第1節 次代を牽引する新しい産業の育成									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
21世紀型産業の育成	環境経済局 経済政策課		ものづくりを中心とした多様な産業で構成される新しい産業都市を構築し、自立性の高い経済基盤を確立するため、研究開発型企業、国際中堅企業とその期待がされる企業、ライフサイエンス産業を軸に、21世紀型産業の育成を図ります。	推進	推進	独自の技術をもつ市内の製造業をニッチトップ企業へと育成する施策を検討するため、支援候補企業の実地調査を実施しました。また、中山道の歴史文化資源を活かした賑わいづくりを行う空きビルを活用した拠点施設の整備について実施計画を策定しました。		85 「21世紀型産業」の具体像の絞込みを行い、同産業の育成を行います。	
新事業創出事業	環境経済局 経済政策課		さいたま市産業創造財団を中核とする産業支援機関による支援体制を構築することにより、創業から事業化までの一貫した支援を実施します。特に、医療福祉、新製造技術、環境、情報技術、コミュニティビジネスの5分野を重点分野に定め、積極的な施策の展開を図ります。	推進	推進	中小企業新事業活動促進法に基づく事業環境整備構想を策定し、さいたま市産業創造財団を中核とする産業支援機関による、創業から事業化まで一貫して支援する体制を構築しました。また、コミュニティビジネスなどを重点分野とするとともに、ニュービジネス大賞の開催や、各種研究会(環境、医療・福祉分野)を開催し、新事業の創出へ向けた事業を実施しました。		86 生活関連の地域ビジネスを育成することにより、地域の雇用創設につなげます。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。).

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第 5 章 産 業 ・ 経 済 の 分 野								
第 1 節 次 代 を 牽 引 す る 新 し い 産 業 の 育 成								
事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
戦略的企業誘致の促進	環境経済局 産業展開推進課	産業経済の活性化、新たな雇用機会の創出などのために、企業誘致活動方針に基づき、関係機関と連携し、情報発信、企業発掘活動、立地支援等を行い、企業の誘致を促進します。また、国際化推進施策を強化するために、埼玉国際ビジネスサポートセンターを核として積極的な外資系企業の誘致を行います。	構想・検討	企業立地件数 30社 (19年度)	平成17年7月に企業誘致の専任部署を設置するとともに、庁内横断組織、庁外連携組織を設置しました。 また、外国企業誘致の実現につなげるため、外国企業招へい活動を行いました。 立地件数実績 7社		市内への戦略的な企業誘致を推進します。 また、「埼玉国際ビジネスサポートセンター」などと連携した外資誘致活動を推進します。 企業誘致を推進することにより、新たな雇用機会の創出を図ります。また、既存企業の事業拡張や創業者支援により、新たな雇用機会の創出を図ります。 国際機関誘致と連携した国際店舗街の形成やテーマパークの誘致の可能性について検討します。	
商工見本市の開催 (再掲5章3節)	環境経済局 経済政策課	市内外の製造業を中心とする展示会を開催し、商工業の振興を図ります。	来場者数 45,000人/年	50,000人/年	「人・地球にやさしいさいたま市の企業」をメインテーマにした商工見本市を、40社(団体)の後援と52社(団体)の協賛を受けて開催しました。市内事業者を中心に217の出展者が、趣向を凝らした製品展示やサンプル品等の配布を行い、自社製品、サービス内容をPRしました。 来場者数 48,000人		-	
企業活動の国際化 推進事業	環境経済局 産業展開推進課	埼玉国際ビジネスサポートセンターと連携しながら、市内企業の海外取引や海外都市との経済交流を推進します。	推進	推進	埼玉国際ビジネスサポートセンターと連携し、セミナー・講座、貿易投資相談会等の海外取引支援事業を実施しました。 また、「外国企業誘致地域支援事業」を活用し、市内企業とベンシルベニア州等の企業と共同して展示会への出展を行いました。		市内への戦略的な企業誘致を推進します。 また、「埼玉国際ビジネスサポートセンター」などと連携した外資誘致活動を推進します。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画
～マニフェスト工程表～の内容です。

第5章 産業・経済の分野								
第2節 生活関連産業の振興								
事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
中心市街地活性化事業の推進(再掲4章1節)	環境経済局 経済政策課	駅を中心とした各地域の核となるような、大きな賑わいを創出する事業に取り組む商店街を支援するなど、商業と商店街の活性化を図ります。	推進	推進	TMOの認定構想推進事業者であるさいたま商工会議所に中心市街地活性化推進事業補助金を交付し、商工会議所と商業者や商店街との連携により運営される街角コンサートなどのTMO構想に基づくソフト事業に対して支援をしました。		-	
商店街コミュニティサポート事業	環境経済局 経済政策課	商店街が実施する空き店舗活用の事業に対し補助を行うことにより、空き店舗の有効利用を行うとともに、地域コミュニティの核である商店街の活性化を図ります。	実施商店街数 1	11	平成16年度からの継続で、住吉通り商店街が実施する空き店舗を活用したギャラリー運営事業に支援を行いました。また、平成17年度新規で、NPO法人が西浦和駅前商店会と連携して空き店舗を活用したパソコン教室等開設事業に支援を行いました。実施商店街数は、2箇所にとどまりました。そのため、平成18年度に向けて補助期間の延長を検討しました。		-	
中小企業支援機関との連携(再掲5章3節)	環境経済局 経済政策課	さいたま市産業創造財団を核として、学術研究機関や技術支援機関、県、商工会議所などとの連携を推進することで、中小企業支援体制の充実を図ります。	推進	推進	(財)さいたま市産業創造財団において、平成17年度より地域プラットフォーム事業を開始したほか、既存の事業についても充実を図り、中小企業者や創業者の育成に努めました。	83	(財)さいたま市産業創造財団を核として、学術研究機関や技術支援機関、埼玉県、商工会議所などとの連携を推進することで、中小企業支援体制の充実を図ります。	
コンベンション事業の推進(再掲7章1節)	環境経済局 観光政策室	ヒト、モノ、情報などの交流を通して、地域の国際化や経済の活性化を図るため、コンベンションの開催の宣伝や誘致、支援などを行います。	推進	推進	コンベンションの開催を様々な形でサポートしている「(社)さいたま観光コンベンションビューロー」に対し、補助金交付等の支援を行うとともに、印刷物の相互利用など連携を図りました。		-	
さいたま市民まつりの開催(再掲7章3節)	環境経済局 観光政策室	市民相互の交流と融和を図るため、市民参加型の複合型イベントとして、イルミネーションパレードや市民参加のパフォーマンスなどによる市民まつりを毎年開催します。	来場者数 35万人/年	50万人/年	平成17年10月8日、9日にさいたま新都心において実施しました。イルミネーションパレードや、全国各地のまつりが集結するTheMATSURIサミットなど、様々なイベントを開催し、35万人が訪れました。		-	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)

は、順調に進捗。 は、進捗が遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第5章 産業・経済の分野									
第2節 生活関連産業の振興									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
盆栽文化の振興・活用(再掲3章4節)	政策局 総合政策担当 市民局 文化振興課	環境経済局 観光政策室	盆栽文化振興・活用基本構想に基づき、盆栽関連施設を整備し、施設を核とした盆栽文化ネットワークを構築します。また盆栽村の積極的なPRを行い盆栽文化を振興します。	盆栽村来訪者 20万人/年	40万人/年	盆栽文化振興・活用基本構想に基づき、関係団体と協議しながら盆栽関連施設等基本計画の策定を進めました。 また、観光振興ビジョンの策定にあたり、観光関係者からなるワーキンググループを立ち上げ、本市の観光・コンベンションの実態と課題を明らかにする基礎調査を行いました。 平成17年度の盆栽村来訪者 21万人		79 さいたま市の地域資源であり、世界にも誇れる盆栽文化の振興・活用を図ります。	
鉄道博物館の整備促進(再掲3章4節)	市民局 文化振興課		東日本鉄道文化財団による鉄道博物館の整備に伴い、本市の地域資源である鉄道文化を生かした魅力あるまちづくりを促進します。	促進	完成 (19年度)	平成17年11月に鉄道博物館の起工式が行われるなど、事業は順調に推移しました。		82 鉄道博物館の整備を促進します。	
(仮)岩槻人形会館整備事業(再掲3章4節)	市民局 文化振興課		さいたま市の伝統文化のひとつである人形文化を広く内外に発信し、生きた文化として継承するため、地域の魅力とにぎわいを高める拠点ともなる(仮)岩槻人形会館を整備します。	構想・検討	完成	(仮)岩槻人形会館整備基本構想・計画の策定を進めましたが、候補地選定に時間を要し、策定に遅れが生じました。 今後は、基本構想・計画の早期策定のため、用地の選定に全力を尽くすとともに、庁内検討会議及び懇話会を設置し、整備方法を検討します。		81 平成20年度を目標に岩槻人形会館を建設します。	
地産地消事業の展開	環境経済局 農政課		農業振興ビジョンに基づき、農産物を市内で生産消費する仕組みを整備するとともに、市内商工農の産業連携をサポートするランドコーディネーターを育成し、地産地消運動を展開します。	ランドコーディネーター数 0名	90名	ランドコーディネーター候補生を41名育成し、ランドコーディネーター候補生と農家の意見交換会を2回開催しました。 また、政令指定都市で初めて「農情報ガイドブック」を作成、市民配布を行いました。		87 市内産業を応援・育成するため、個人・企業・行政からなるサポーターによる商工農全体を総合した「地産地消運動」を推進します。	
農業生産基盤整備の推進	環境経済局 農政課		農業生産効率の向上のため、ほ場(農場)整備や周辺環境整備などを行います。	土地基盤整備事業の受益面積 0ha	130ha	指扇北土地改良区の設立及び、指扇北土地改良事業の事業採択を受け、18.9haのほ場整備を行うことになりました。		-	
農業振興地域整備計画全体見直し事業	環境経済局 農政課		優良農地の保全確保を図るため、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業振興地域整備計画の見直しを行います。	検討	合併に伴う農業振興地域整備計画見直し終了 (18年度)	さいたま市農業振興地域整備計画と岩槻市農業振興地域整備計画の統合し、土地利用計画見直しの基礎資料を作成しました。		-	

「進捗状況」欄について
計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。
は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、
は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第5章 産業・経済の分野									
第2節 生活関連産業の振興									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
都市農業の充実	環境経済局 農政課		都市農業の充実を図るため、農業後継者の育成や地域の担い手を認定農業者として育成することを推進すると共に、認定農業者の経営規模の拡大などを推進します。	認定農業者数 140経営体	223経営体	平成17年度の取組の結果、認定農業者の認定件数は9件、認定農業者の認定取消しが2件、農業生産法人申請の相談が1件、結果として認定農業者数が平成18年3月31日現在で147経営体となりました。 また、さいたま市アグリ・カルチャービジネススクールの農業経営を考える講演会を開催しました。		80 環境保全型農業の意識向上に向けた研修会の開催や農地の集約化、農業後継者の育成を進めるとともに、市民への本市農業、農産物のPRを進めます。	
観光資源の充実・整備事業	環境経済局 観光政策室		来訪者がまちで集い、楽しみ、そして賑わう観光振興の基本理念・方向性・展開方策を明らかにする観光振興ビジョンを策定するとともに、観光資源の整備や、市内観光ルートの設定などを行います。	検討	観光振興ビジョンの策定 (18年度) 推進	観光関係者からなるワーキンググループ会議を5回開催し、本市の観光資源の評価、観光・コンベンションに関する意識調査の実施など、本市の観光・コンベンションの実態と課題を明らかにする作業を行い、最終的に基礎調査報告書としてまとめました。		13 「来訪者がまちで集い、楽しみ、そして賑わう」観光振興の基本理念・方向性・展開方策を明らかにする「観光振興ビジョン」を策定し、観光資源の充実・環境整備を開始します。 78 「来訪者がまちで集い、楽しみ、そして賑わう」観光振興の基本理念・方向性・展開方策を明らかにする「観光振興ビジョン」を策定し、観光資源の充実・環境整備を行います。 90 観光資源の整備や市内観光ルートの確立などにより、観光客の増加を図り、地域経済の活性化に繋がります。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。).

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第5章 産業・経済の分野									
第3節 産業活動の活性化の環境づくり									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
産学官連携推進事業	環境経済局 経済政策課		大学などの研究機関、産業界、行政が連携・協力を推進し、本市産業の活力向上を図ります。そのために、企業ニーズと研究者シーズ(大学の知的資源等)をマッチングさせるコーディネーターの設置や、産学連携をテーマとする研修会・講演会などを開催します。	推進	推進	産業創造財団において、コーディネータを配置して産学連携等のマッチングに努めたほか、産学連携を推進し、市内における新事業創出を促進するため、埼玉県と共同により設置する「産学連携支援センター」について協議を行い、平成18年6月に開設することとなりました。		-	
商工見本市の開催 (再掲5章1節)	環境経済局 経済政策課		市内外の製造業を中心とする展示会を開催し、商工業の振興を図ります。	来場者数 45,000人/年	50,000人/年	「人・地球にやさしいさいたま市の企業」をメインテーマにした商工見本市を、40社(団体)の後援と52社(団体)の協賛を受けて開催しました。市内事業者を中心に217の出展者が、趣向を凝らした製品展示やサンプル品等の配布を行い、自社製品、サービス内容をPRしました。 来場者数 48,000人		-	
起業家支援事業の 推進	環境経済局 経済政策課		さいたま市産業創造財団を通じて、起業準備段階では、テスト起業の機会提供や民間インキュベーション施設に関する情報提供などを、また、起業後は窓口相談や専門家派遣、セミナーなどを通じて、企業の成長・発展を支援します。また、小中学生に対する早期起業家教育を実施し、「起業家精神」の醸成を図ります。	推進	推進	産業創造財団において民間施設を活用したインキュベーション事業を実施し、市内における起業家の輩出に努め、13件が創業しました。また、市内小中学生を対象とした、起業家教育を実施し、起業家精神の醸成に努めました。		-	
障害者就労支援事業 (再掲2章4節)	保健福祉局 障害福祉課		就労機会の拡大や職場定着を図るため、障害者就労支援センターを設置するとともに、福祉的就労先である授産施設や小規模作業所の運営を支援します。	養護学校等卒業生の就労率(福祉的就労を含む) 25%	40%	障害者総合支援センターの設計を完了しました。就労支援体制づくりについては、養護学校の進路指導会議に参加し、情報交換、協議を行うとともに、就労支援の検討委員会を設け、支援体制及び事業の検討を行いました。養護学校等卒業生の就労率(福祉的就労を含む)25%		(仮称)障害者総合支援センターを拠点として就労支援体制を構築し、障害者の就労促進を図ります。	平成16年度の養護学校等卒業生の就労率(福祉的就労を含む)は、21%でした。

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、

は、順調に進捗。 は、進捗が遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第5章 産業・経済の分野								
第3節 産業活動の活性化の環境づくり								
事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
ファミリー・サポート・センターの充実 (再掲 2章2節、7章2節)	保健福祉局 保育課	仕事と育児の両立を支援するため、援助を受けたい会員、援助をする会員からなる互助制度であるファミリー・サポート・センターの運営を充実します。	会員数2,359人 活動件数12,293件	3,500人 18,450件	新たに地域情報誌等に会員の募集記事や援助活動の状況を掲載をした他、退職者説明会の会場やボランティア団体、ふれあい館等で資料を配布し会員募集等の啓発を行い、会員数2,628人、活動件数9,374件となりました。合併により岩槻区の保育に関する利便性が良好化したことで、岩槻区を中心に活動件数は減少しましたが、会員数は着実に増加しました。子育て支援に関する各種事業の整備に伴い、ファミリー・サポート・センターの活動件数は減少傾向にありますが、今後、提供会員の増加に向けた子育てweb等の電子情報の活用等を通じ事業の充実を図ります。		ファミリー・サポート・センターの運営を充実します。	54
シルバー人材センターの充実・シルバーバンク事業(再掲2章3節、7章3節)	保健福祉局 高齢福祉課	高齢者の就業機会を確保し、活力ある新しい地域社会づくりを目指すシルバー人材センターの充実と、団塊の世代の社会参加を図るシルバーバンク事業を実施します。	会員数 3,395人	充実 シルバーバンクの創設	シルバー人材センターにおいては、就業検討委員会の実施、情報提供体制の充実の一環としてホームページの整備等を行いました。また、岩槻市シルバー人材センターと合併し、会員数は4,431人となりました。シルバーバンク事業においては、シルバーバンクのコンセプト確立に向け、他市の状況を調査・分析するとともに、シルバー人材センターを始めとした関係団体との意見交換会を行いました。		団塊の世代の高齢化に伴い、社会参加の機会の拡充を図るシルバーバンク事業を実施します。	47
就労支援体制の整備	環境経済局 労政経済課	厳しい雇用情勢や働き方の多様化に対処するため、労働関係の情報提供や各種セミナーなどを行うとともに、キャリアカウンセラーによる職業相談など、就労支援体制を整備します。	推進	充実	本市における就労状況の課題、問題点の洗い出し、就労支援策に対するニーズの把握をするため「さいたま市就労実態調査」を実施しました。また、若年者を対象とした就職支援セミナーを2回延べ4日間開催し、参加者数は延べ61名でした。		-	

「進捗状況」欄について
 計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。
 は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、
 は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第5章 産業・経済の分野									
第3節 産業活動の活性化の環境づくり									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
勤労者福祉サービスセンターの充実	環境経済局 労政経済課		中小企業に勤務する勤労者や事業主を対象に、生活安定事業や健康の維持増進事業などを行う勤労者福祉サービスセンターの充実を進めます。	会員数 4,188名	15,000名	サービスマニューのインターネット申込システムの運用を開始するなど会員サービスの向上や、魅力あるサービスマニューの充実に努めました。会員数は伸びていません。平成17年度末会員数 4,264名		-	
中小企業支援機関との連携(再掲5章2節)	環境経済局 経済政策課		さいたま市産業創造財団を核として、学術研究機関や技術支援機関、県、商工会議所などとの連携を推進することで、中小企業支援体制の充実を図ります。	推進	推進	(財)さいたま市産業創造財団において、平成17年度より地域プラットフォーム事業を開始したほか、既存の事業についても充実を図り、中小企業者や創業者の育成に努めました。		83 (財)さいたま市産業創造財団を核として、学術研究機関や技術支援機関、埼玉県、商工会議所などとの連携を推進することで、中小企業支援体制の充実を図ります。	
伝統産業活性化事業	環境経済局 経済政策課		地域に古くから根付いている産業の活性化と、その技術の伝承を図るため、(仮)伝統産業活性化条例を制定し、市内外へのPR、後継者育成、新たな市場開拓等の支援を推進します。	構想・検討	(仮)伝統産業活性化条例制定 (19年度) 推進	伝統産業活性化に関する取り組みを実施している先進事例について、調査を行いました。		77 概ね80年以上の歴史を持つ手工業的なもの(盆栽、うなぎ、人形等)を本市の伝統産業と位置づけ、伝統産業の活性化のための条例制定又は都市宣言を検討します。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。